事業説明シート　3　中小企業金融対策事業(継続)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
4節 創業の促進と既存中小企業の支援
3項 金融対策による経営基盤の強化
重点テーマ 7 IT革命に伴う社会変化への対応

【①事業の目的】	【②事業の対象】
経営基盤の弱い中小企業の経営安定化を図るため、長期・低利の各種あっせんを行うことにより、中小企業の経営基盤の強化を図る。もって本市経済の発展に寄与する。/平成１２年度末融資実績/1,544件 6,811,570千円	市内中小企業者
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
中小企業の経営基盤強化を図るため、長期・低利の各種融資あっせんを行い、企業の経営安定と業界の健全な発展を促進する一方、信用保証協会に対し、基本財産の充実と保証枠の拡大を図るための出捐等を行うことにより金融の円滑化を図る。	・中小企業に対し、長期・低利の各種融資あっせんを行う。また、信用保証協会に対し、基本財産の充実と保証枠の拡大を図るための出捐等を行う。 ・ペイオフに対応した新たな方式として、現行の預託方式の廃止を検討している。
【⑤備考】 １．平成１２年４月１日に大幅な制度改正を実施し、同年７月に新たな制度を創設した。 ２．ペイオフ対応により財政計画に変更が生ずる。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　3　中小企業金融対策事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	ペイオフ解禁に向け、これまでの預託方式の見直しが必要となる。

【②民間事業との競合】	
○ 無 ● 有	金融機関との競合がある。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	国の金融安定化特別保証制度により平成１０年度から市の制度融資実績が減少していたが、当該制度が平成１３年３月末で終了したことと、平成１２年度に市の制度融資の大幅な改正もあり、現在増加傾向にある。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	本市産業の発展のためには、それを支える中小企業の経営基盤の強化が必要であり、長期、低利の制度融資が必要である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	今後、保証協会、各金融機関との調整が必要である。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	市内事業所数と従業者数（増減率）				
選定理由	市内事業所数及び従業者数の増減を見ることで有効性が把握できる。				
計算・推計方法	①事業所・企業統計調査時数値による（当該年調査値／前回調査値×100） ②商業統計調査時数値による（当該年調査値／前回調査値×100）				
留意事項	①は５年毎、②は５年毎調査（調査の２年後に簡易調査）				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	①前回調査より増加	②前回調査より増加		②前回調査より増加	

実績					

【⑦事業成果指標・備考】
・目標は、前回調査より増加とする（①の次回調査は18年度）
・事業所数は、従業員数４人以上の事業所数

08商工　3

事業説明シート　5　商店街共同施設設置事業(継続)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
1節 商業･サービス業の振興
2項 賑わいのある商業地の形成促進
重点テーマ 5 中心市街地再生による秋田の顔づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
商店街等の近代化・活性化のための共同施設設置事業に対して、当該経費の一部について補助金を交付することにより、消費者に親しまれる魅力ある街づくりを目指すことを目的とする。 /１２年度実績　　２件　5,085千円	商店街団体等
【③全体事業概要】 商店街の振興及び市民の利便に供するため、商店街団体等が実施する公共性の高い共同施設設置事業に対し、建設費の一部を補助する。	**【④新年度事業概要】** 協同組合秋田市民市場改築に伴う公共性の高い施設部分への助成
【⑤備考】 平成１１年６月議会において、協同組合秋田市民市場改築への支援の請願が全会一致で可決されている。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　5　商店街共同施設設置事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	商店街振興事業であり競合はない。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　　○ 減少傾向	最近は、街路灯設置・改修事業の需要が主で、毎年３商店会程度から要望がある。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	商店街の共同施設については公共性があり、また、多額の費用が伴うことから今後とも支援の必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	市内商業地通行量（調査時点）（増減率）				
選定理由	商店街整備の効果が通行量で測れる。				
計算・推計方法	通行量調査の集計計数に基づく（当該年調査値／前回調査値×100）				
留意事項	現在３年ごとの調査となっている。加えて14年度は調査地点を増やす予定。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					前回調査より増加
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
調査地点を増やす14年度を基準とする。

事業説明シート　6　中心市街地活性化対策事業(継続)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
1節 商業･サービス業の振興
2項 賑わいのある商業地の形成促進
重点テーマ 5 中心市街地再生による秋田の顔づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
国の「中心市街地活性化法」に基づき、空洞化の進行する中心市街地の活性化を図るため、ＴＭＯの活用により市街地の整備改善事業と商業の活性化事業を一体的に推進し、中心市街地から流出した人々を再び中心市街地に呼び戻し、賑わいのある、活気のあふれる中心市街地の形成を図るものである。	秋田市中心市街地活性化基本計画に定められた計画区域内事業
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
中心市街地活性化法に基づき、ＴＭＯが単独で、あるいは事業主体と共同で実施する高度化関連事業や商業活動支援のソフト事業を支援する。	13年度事業の進捗状況による。
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　6　中心市街地活性化対策事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	ＴＭＯの組織体制が未定である。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	ＴＭＯが直接実施するソフト事業は、民間を考慮し競合を避けたものとなる。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	本市の中心市街地の空洞化は進行しており、行政に対する対策要望が強くなっている。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	本市の中心市街地空洞化の度合いは著しく、その対策は緊急性を要する。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	ＴＭＯの設立について関係機関とのコンセンサス形成が必要である。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	市内中央街区の通行量（調査時点）（増減率）				
選定理由	中心市街地にどれだけ人が戻ったか、前回調査時データとの比較でわかる。				
計算・推計方法	市内主要商業地通行量調査の中央街区部分のデータを活用（当該年調査値／前回調査値×100）				
留意事項	現在３年ごとの調査となっている。加えて１４年度は調査地点を増やす予定。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					前回調査より増加
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
調査地点を増やす14年度を基準とする。

08商工　6

事業説明シート　9　創業者トータルサポート事業(新規)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
4節 創業の促進と既存中小企業の支援
0項
重点テーマ 5 中心市街地再生による秋田の顔づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
新たに事業を創出しようとする意欲のある起業者や、現在の事業を新展開しようとしている商工業者に対し、中心市街地内に支援の場を設けることにより、地域商工業の発展と雇用の拡大、併せて中心市街地の活性化に資することを目的とする。	起業者・商工業者
【③全体事業概要】 中心市街地内の空地あるいは低利用地に、商工業インキュベータ施設として複数の簡易店舗を設置し、入居希望者に賃貸を行い、実験的に店舗営業をさせながら経営のノウハウを修得してもらうなど、チャレンジショップ等創業支援を行うことにより、最終的な起業や新たな事業展開に結びつける。 また、当該事業の話題性を高め、中心市街地の賑わい創出にも結びつける。	**【④新年度事業概要】** 中心市街地内の空地あるいは低利用地に、商工業インキュベータ施設として複数の簡易店舗を設置し、入居希望者に賃貸を行い、実験的に店舗営業をさせながら経営のノウハウを修得してもらうなど、チャレンジショップ等創業支援を行うことにより、最終的な起業や新たな事業展開に結びつける。 また、当該事業の話題性を高め、中心市街地の賑わい創出にも結びつける。
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　9　創業者トータルサポート事業(新規)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	経済状況や雇用情勢の悪化に伴い、自ら事業を展開しようとする者や、現在の営業活動の停滞を打開するため、新たな環境での事業活動にチャレンジしようとする事業者は潜在的な増加傾向が見られる。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	現在の経済状況や雇用情勢の悪化に緊急に対応する必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	中心市街地内の土地所有者との協議が必要。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	市内事業所数と従業者数（増減率）				
選定理由	市内事業所数及び従業者数の増減を見ることで有効性が把握できる。				
計算・推計方法	①事業所・企業調査時数値による（当該年調査値／前回調査値×100） ②工業統計調査時数値による（当該年調査値／前回調査値×100）				
留意事項	①は５年毎、②は毎年調査				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度

目標	①前回調査より増加 ②前回調査より増加	②前回調査より増加	②前回調査より増加	②前回調査より増加	②前回調査より増加
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
・目標は、前回調査より増加とする（①の次回調査は18年度）
・事業所数は、従業員数４人以上の事業所数

08商工　9

事業説明シート　14　竿燈まつり振興事業(継続)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6 節 観光･コンベンションの振興
2 項 伝統行事等の保存育成
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
国指定の重要無形民俗文化財である竿燈を保存伝承しながら、竿燈まつりを実施することで、市経済の活性化やＰＲにもつなげていく。 ☆H11　125万人 ☆H12　131万人 ☆H13　125万人	観光客 秋田市竿燈会 秋田市竿燈まつり実行委員会
【③全体事業概要】 ・事業費の補助 ・安全対策、仮設トイレ設置等の業務委託 ・秋田市竿燈会への提灯製作費貸付等	**【④新年度事業概要】** ・事業費の補助 ・安全対策、仮設トイレ設置等の業務委託 ・秋田市竿燈会への提灯製作費貸付等
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　14　竿燈まつり振興事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	秋田中央道路の建設に伴い、現状のままでのまつり運営は困難となることが想定されるため、会場問題の検討の中で、運営のあり方自体も見直しが必要となる。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　○ 減少傾向	

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	本市を代表するまつりであり、行政のバックアップは不可欠である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	竿燈観光客数				
選定理由	実施の効果を端的に表せる				
計算・推計方法	秋田県観光統計調査数値による				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		1,360千人	1,360千人	1,360千人	1,360千人
実績	1,250千人				

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート　16　雄物川フェスティバル開催費補助金(継続)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6節 観光･コンベンションの振興
1項 通年型滞在観光の確立
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
西部地区の観光振興を図る団体に補助することで、市民の憩いの時間を創出するとともに、観光資源の創造につながる。 H13 人出　160,000人	秋田市夏まつり雄物川花火実行委員会
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
花火大会開催事業費の補助	花火大会開催事業費の補助
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　16　雄物川フェスティバル開催費補助金(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	同時期に各地で花火大会が行われており、観光事業の側面からは効果が薄いが、多くの市民が楽しんでいるイベントでもある。 現在の観光事業としての補助金支出は終期を設定し、その後は何らかの記念イベントして行うなどの見直しが必要である。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　　○ 減少傾向	

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	現状の単なる花火大会に対しては観光事業としての財政支援の必要性は薄れてきているものの、観光振興による地域活性化のための何らかの支援は必要である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	地元主催者（実行委員会）の事業実施に対する考え方を再確認する必要がある。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	観光客数				
選定理由	数値化できる唯一の指標であるため				
計算・推計方法	秋田県観光統計調査数値による				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		１８０千人	１８０千人	１８０千人	１８０千人
実績	１６０千人				

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート　21　「美心ふれあいガイドブック」製作経費(新規)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6 節 観光･コンベンションの振興
3 項 誘客宣伝の促進および観光客受け入れ体制の整備
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
秋田ソウル間定期航空便の就航により、市民と外国人観光客がふれあう機会の増加が予想されるため、市民の外国人に対する親しみある応対の一助とする。	一般市民
【③全体事業概要】 挨拶言葉や習慣の違いなどで注意すべき点などを掲載したガイドブックを作成するもの。 製作部数　10,000部	【④新年度事業概要】 挨拶言葉や習慣の違いなどで注意すべき点などを掲載したガイドブックを作成するもの。 製作部数　10,000部
【⑤備考】 窓口等で無料配布	【⑥国県施策名】 【⑦国補助率】 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】

事業評価シート　21　「美心ふれあいガイドブック」製作経費(新規)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
○ 無 ● 有	外国語の会話集は市販されている。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	外国人観光客の増加が見込まれる。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	秋田ソウル定期便の就航により韓国人を始めとする外国人観光客の増加が見込まれるため、この時期に市民に情報を提供する必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】						
指標	配付部数					
選定理由	市民の意識の高さを示すものであるため。					
計算・推計方法	配付部数					
留意事項						
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	
目標		10000				
実績						

【⑦事業成果指標･備考】
市民のホスピタリティー向上のための事業であり、成果の数値化は困難であるため、配付部数とする。

08商工　21

事業説明シート　22　秋田市観光ツアーコンテスト実施事業(新規)

部局課所　**商工部商業観光課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6節 観光･コンベンションの振興
3項 誘客宣伝の促進および観光客受け入れ体制の整備
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
秋田の将来を担う若い人たちに観光について考察してもらうとともに、その斬新なアイデアを政策に反映する機会をつくる。	高校生・大学生
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
高校生・大学生の３人１組のチームを対象に、指定範囲内予算で市内での観光・宿泊を含むツアーを企画してもらい、旅行関係者等に審査してもらう。商品化に結びつくような優れたものについては、企画者がコンダクターとなり、審査員が実際にツアーを体験し最終審査をする。	高校生・大学生の３人１組のチームを対象に、指定範囲内予算で市内での観光・宿泊を含むツアーを企画してもらい、旅行関係者等に審査してもらう。商品化に結びつくような優れたものについては、企画者がコンダクターとなり、審査員が実際にツアーを体験し最終審査をする。
【⑤備考】 ＰＲ要項印刷費　５０,０００ 審査会議費　５０,０００ ツアー試行経費　４５０,０００ 入賞賞品購入費　３００,０００ 計　８５０,０００円	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　22　秋田市観光ツアーコンテスト実施事業(新規)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	新たな視点での観光ルートの発掘が必要

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	本市観光への認識を深めるとともに、市民の意見を政策に反映させるため、市民（特に本市の将来を担う若い人）の視点での観光ルートを考えてもらう。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	応募企画数				
選定理由	本市観光に対する市民の認識度が計れる				
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		２０			
実績					

【⑦事業成果指標・備考】

08商工　22

事業説明シート　23　高度技術産業集積活性化事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
3節 工業の振興
0項
重点テーマ 7 IT革命に伴う社会変化への対応

【①事業の目的】	【②事業の対象】
新事業創出促進法により策定した「秋田地域高度技術産業集積活性化計画」に基づき、旧テクノポリス地域に集積された高度技術などの地域産業を活用し、新たな産業の創出の基盤となる機能の育成、強化をはかる。	秋田市・河辺町・雄和町（１市２町）面積約９万ヘクタール
【③全体事業概要】 ○地域企業の技術の高度化や事業化・企業化の支援 ○企業誘致の推進と地域企業からの高度技術産業への参入の促進 ○重点導入分野の設定 ※新事業創出の目標水準（平成１７年度を目標年度とする） ・工業出荷額　５，２２７億円 ・工業付加価値額　２，２１９億円 ・工業従事者　１７，２７８人 ・開業率　５．０％	**【④新年度事業概要】** 旧テクノ関連の基金の運用益を活用した各種事業を県と１市２町が共同で実施する。 １　テクノ共同研究開発助成事業 ２　テクノものづくり挑戦助成事業 ３　テクノ研究施設活用促進助成事業 ４　テクノ地場産業活性化事業 ５　テクノ関連事業
【⑤備考】 新事業創出促進法の制定により、１市２町は高度技術産業集積地域に指定された。（平成１２年４月） 　これを受け、あきた産業振興機構への職員派遣を通じてこれまで以上に積極的に政策を提言していく。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　23　高度技術産業集積活性化事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	雇用情勢が悪化する中で、雇用の場の確保・創出を図るため、新事業・新産業の創出が求められている。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	これまで地域に集積された高度技術などの地域産業を育成・強化しながら、新事業・新産業の創出をはかっていく必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	工業出荷額（１市２町）				
選定理由	高度技術産業の集積の成果を表す指標の一つである				
計算・推計方法	当該年度の工業出荷額				
留意事項	目標値は平成10年の工業出荷額に「秋田地域高度技術産業集積活性化計画」に基づく、過去10年間の平均伸び率2.8%を乗じた額である。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度

目標	4,680億円	4,811億円	4,946億円	5,084億円	5,227億円
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
実績としている工業出荷額のわかる「工業統計」が出るまではタイムラグがある。

08商工　23

事業説明シート　27　在京経済人懇談会開催経費(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
3節 工業の振興
2項 企業誘致の推進
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
雇用機会の拡大や本市産業の活性化をはかるため、本市と関わりのある在京経済人等との意見交換や情報収集のための懇談会を開催し、新規企業の誘致を促進する。	秋田出身の在京経済人及び誘致企業の本社代表者等
【③全体事業概要】 本市と関わりのある在京経済人と既に本市に立地している企業の代表者を招き、本市経済施策等に提言・助言をいただくほか、各種情報交換や秋田のＰＲを通じて今後の企業誘致活動を効果的に推進する。	**【④新年度事業概要】** 本市と関わりのある在京経済人と既に本市に立地している企業の代表者を招き、本市経済施策等に提言・助言をいただくほか、各種情報交換や秋田のＰＲを通じて今後の企業誘致活動を効果的に推進する。
【⑤備考】 秋田商工会議所と共催で隔年実施 平成１２度開催実績：出席者１０８名（招待者６７社７８人、市・商工会議所３０人）	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　27　在京経済人懇談会開催経費(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	参加者アンケートでは、企業誘致活動の有効な方法であるとの回答を得ている。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	当市出身者を含めた在京経済人とのコネクションは、企業誘致をはじめ、地元企業活性化への影響力が大きい。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	秋田商工会議所との共催事業である。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	訪問企業数				
選定理由	懇談会開催の成果が把握できる				
計算・推計方法	訪問企業数				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	７０社	７０社	７０社	７０社	７０社
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
懇談会の開催のインターバルに出席企業への訪問を行っており、企業とのコネクションができることが成果となっている。

事業説明シート　30　中小企業用地取得資金融資事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
3節 工業の振興
0項
重点テーマ 7 IT革命に伴う社会変化への対応

【①事業の目的】	【②事業の対象】
用地取得費など初期設備投資を軽減し、新増設を行なう市内中小企業を支援するとともに、市街地・住宅地にある工場等の市内工業団地への誘導をはかる。	中小企業者
【③全体事業概要】 ○市工業団地への企業の立地促進をはかるため、中小企業者に対し、融資あっせんを行う。（用地取得費対象：商工業振興条例の対象とならない案件） ○用地取得のニーズを把握するため、市内企業及び市内金融機関を訪問説明し、当事業のＰＲと積極的利用を促す。	**【④新年度事業概要】** ○融資限度額１億円 ○新規創業者や新分野へ進出する企業等に対し、当初３年間に限り年２．０%の利子補給
【⑤備考】 平成１３年度より、新規創業者や新分野・新製品開発を行うために制度を利用する企業に対し、初期投資の軽減を図るため、当初３年間に限り年２．０%の利子補給を行う。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　30　中小企業用地取得資金融資事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	ペイオフの実施に伴い、現在の預託方式を変更する可能性がある。

【②民間事業との競合】	
○ 無 ● 有	金融機関においてもそれぞれ融資制度を設けている。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	企業の移転・進出を含め、小規模区画の需要が増加している。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	本市が開発した工業団地の早期完売、企業の立地促進がはかられる。（秋田市中小企業融資あっせん条例に基づく。）

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	当該年度分譲面積				
選定理由	融資制度の活用を促進することにより、工業団地の早期完売がはかられる。				
計算・推計方法					
留意事項	前年度の分譲残面積と新年度の造成計画面積により融資枠を決定する。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	15,190㎡	7,590㎡			
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
目標値は当該年度分譲可能面積とする。（変動あり）

08商工　30

事業説明シート　31　中小製造業設備投資促進資金融資事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
3節 工業の振興
0項
重点テーマ 7 IT革命に伴う社会変化への対応

【①事業の目的】	【②事業の対象】
長期低利な融資あっせんを行うことにより、中小企業の設備の近代化・高度化を図る。 （平成１２年度実績）　６件、１１７,４３７千円	市内中小製造業者
【③全体事業概要】 地元既存中小製造業者に対し、工場等の新規設備投資事業を対象とした長期低利の融資あっせん（４倍協調）を行なうとともに、市が２．０％の利子補給をする。	**【④新年度事業概要】** 設備投資を促進するため、金利の上昇分に応じて利子補給の利率を変更する。
【⑤備考】 平成１３年度より、大規模な設備投資に対応するため、限度額を一律１億円に改正した。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　31　中小製造業設備投資促進資金融資事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	ペイオフの実施に伴い、現在の預託方式を変更する可能性がある。

【②民間事業との競合】	
○ 無 ● 有	金融機関においてもそれぞれ融資制度を設けている。

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ○ 不変　● 減少傾向	長引く景気低迷により、企業は設備投資を控える傾向にあるが、潜在的なニーズは存在している。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	市内企業の経営安定や基盤強化を支援するためにも、市が行う必要がある。（秋田市中小企業融資あっせん条例に基づく。）

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	融資枠に対する融資実行額の割合				
選定理由	企業の設備投資意欲を表すものである				
計算・推計方法	融資実行額／融資枠×100（%）				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	１００%	１００%	１００%	１００%	１００%
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
企業の設備投資額も一つの指標と考えられる。

事業説明シート　33　就業支援事業（緊急雇用創出特別基金事業）(終了)

部局課所　商工部工業労政課
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
5 節 雇用および労働福祉対策の推進
0 項
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
雇用・失業情勢は、景気の長期低迷等により厳しい状況にあることから、雇用・就業機会の創出を図る。	
【③全体事業概要】 国からの交付金を財源とした基金を県が設置し、この基金を活用して地域の実情に応じた緊急に対応すべき事業を実施する。 平成１１年度～１３年度の時限的事業	**【④新年度事業概要】**
【⑤備考】 テルサ内に設置した雇用情報プラザは需要があるため、「秋田テルサ管理運営委託事業」に含め、継続事業として実施する。	**【⑥国県施策名】** 秋田県緊急地域雇用特別基金事業 **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** １０／１０ **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　33　就業支援事業（緊急雇用創出特別基金事業）(終了)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
○ 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ○ 有	

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標					
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート　36　労働者福祉対策事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
5 節 雇用および労働福祉対策の推進
2 項 労働福祉対策の推進
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
勤労者の経済的地位の向上と、勤労者福祉団体の健全な育成を図る。	勤労者
【③全体事業概要】 勤労者の生活の安定を図るため、生活資金等の貸付原資を預託する他、勤労者の住宅問題に対処するため、宅地造成事業等の資金原資を預託する。 ・秋田県労働金庫（一般貸付預託金） ・秋田県勤労者住宅生活協同組合（育成資金預託金）	【④新年度事業概要】 全体事業概要と同じ。
【⑤備考】 秋田県労働者信用基金協会は、平成１４年度から日信協へ事業譲渡するため、預託及び出捐の必要なし。	【⑥国県施策名】 【⑦国補助率】 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】

事業評価シート　36　労働者福祉対策事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	預託金の取り扱いについて労金と協議中であり、現在のところ引き続き預託する方向である。なお、ペイオフ対策としては、預託額以上の地方債を借入し、相殺することを考えている。なお、預託を廃止する場合には新たな施策が必要となる。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　　○ 減少傾向	

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	厳しい雇用情勢の中、労働者福祉対策の一環として必要である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	預託を廃止する場合には新たな施策が必要となる。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	なし				
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
労働者福祉の向上を成果とするため、指標は設定できない。

事業説明シート　38　秋田テルサ管理運営委託事業(継続)

部局課所　商工部工業労政課
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
5節 雇用および労働福祉対策の推進
2項 労働福祉対策の推進
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
勤労者に対し、職業相談や職業情報の提供をはじめ、教養・文化・研修・スポーツ等の活動の場を提供することにより、福祉の充実と勤労意欲の向上を図り、雇用の促進と職業の安定を目指す。利用者は、建設当初の目標であった年間３０万人を超えているが、今後とも引き続き、企業や各種団体へ会議、研修等の利用ＰＲに努め、年間利用者２％増を目標とする。	勤労者
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
勤労者のための総合福祉施設である秋田テルサの事業運営の円滑化を図るため、(財)秋田市勤労者福祉振興協会に運営を委託する。	全体事業概要と同じ。
【⑤備考】 運営形態（再々委託） 雇用・能力開発機構→秋田県→秋田市→財団 設置主体：雇用・能力開発機構 緊急地域雇用特別基金事業で実施している雇用情報プラザの事業費を組み込む。	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　38　秋田テルサ管理運営委託事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　○ 減少傾向	講座受講者等が若干減少傾向にある。 年間利用者数の推移 H10　328,950人 H11　341,746 H12　313,264

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	勤労者福祉の向上のため、雇用・能力開発機構と市が建設した施設である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	施設の有償譲渡について、県や他都市の状況を勘案し検討しなければならない。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	当初目標の年間利用者数に対する達成率				
選定理由	施設の需要度を把握する基準となる。				
計算・推計方法	年間利用者数／300,000人×100（%）				
留意事項	安定運営の目安となる利用者数を300,000人としている。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	106.5%	108.6%	110.8%	113.0%	115.3%

実績					

【⑦事業成果指標・備考】
経営改善の指標として、収入金額も考えられる。

08商工　38

事業説明シート　39　サンライフ秋田管理運営事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
5 節 雇用および労働福祉対策の推進
2 項 労働福祉対策の推進
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
中高年齢労働者に対する職業講習、雇用・就職に関する相談や情報の提供を行うとともに、心身の健康保持、体力の増強、教養・文化等の場を提供することにより、雇用の促進と福祉の向上を目指す。	中高年齢労働者
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
中高年齢労働者のための福祉施設であるサンライフ秋田の事業運営の円滑化を図るため(財)秋田市勤労者福祉振興協会に運営を委託する。	全体事業概要と同じ。
【⑤備考】 運営形態（再々委託） 雇用・能力開発機構→県→市→財団 設置主体：雇用・能力開発機構	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　39　サンライフ秋田管理運営事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	設備の更新を検討する必要がある。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　　○ 減少傾向	プール利用者が若干減少傾向にある。 年間利用者数の推移 H10　153,963人 H11　162,578 H12　156,645

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	中高年齢者の福祉向上のため、雇用・能力開発機構と市が合築した施設である。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	施設の有償譲渡について、県や他都市の状況を勘案し検討しなければならない。

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	年間利用者数				
選定理由	施設の需要度を把握する基準となる。				
計算・推計方法	年間利用者数				
留意事項	目標値＝前年度利用者数×100.5%				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	157,429人	158,216人	159,007人	159,802人	160,601人
実績					

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート　40　高校生インターンシップ事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
5節 雇用および労働福祉対策の推進
1項 雇用の創出と雇用環境の整備
重点テーマ

【①事業の目的】	【②事業の対象】
市内高校生を対象としたインターンシップを推進することにより、高校生の就業意欲の向上と若年者の離職率抑制をはかるとともに、企業における人材発掘に寄与する。	市内高校生
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
高校では困難な受入企業の発掘を市で行い、高校へ参加を働きかけると共に、その結果を高校・企業・ハローワーク等関係機関に情報提供し、今後の事業推進の円滑化を図る。	全体事業概要と同じ。
【⑤備考】 平成14年３月高卒の市内高校生就職希望者　1,191人 （８月末現在）	**【⑥国県施策名】**　ジュニアインターンシップ **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　40　高校生インターンシップ事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	インターンシップ参加希望の高校生が増えている。 参加者数の推移 H12　19人 H13　84人

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	当面市が受け入れ企業を開拓する必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	受入企業の理解と確保

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	参加者数および受入企業数				
選定理由	制度の普及・定着を示す指標となる。				
計算・推計方法	参加者数および受入企業数				
留意事項	平成16年度まで各高校主導で事業実施できるよう環境を整備する。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	100人 40事業所	100人 40事業所	100人 40事業所		
実績					

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート　41　男女共同参画推進事業(継続)

部局課所　**商工部工業労政課**
総合計画　5 章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち
5 節 男女共生社会の充実
2 項 男女共同参画社会の推進
重点テーマ 3 市民共生社会の実現

【①事業の目的】	【②事業の対象】
男女が対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、社会的、文化的利益を享受し共に責任を担うべき社会を目標とし、人権が尊重され、少子高齢化等の社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある秋田市を実現する。	全市民
【③全体事業概要】 男女共生社会を進めるためには、男女が対等の意識づくりと環境づくりへの長期的・総合的な取り組みが必要である。 (1)情報誌等配付やフォーラム開催などにより男女共生の意識づくりの啓蒙に努める。(2)現在23.9%となっている市各種委員会の女性登用率を平成17年度末までに行動計画目標30%達成をめざす。(3)各種審議会等に参画できる女性の人材養成に努める。(4)改正男女雇用機会均等法及び労働基準法改正の周知により、労働の場での男女差別をなくし女性の経済的・生活的・精神的自立を図る。	**【④新年度事業概要】** ・懇話会の開催 ・情報誌16、17号の発行 ・ガイドブックの発行・増刷 ・市民手作りフォーラムの充実 ・各種審議会委員の登用状況調査及び啓蒙 ・人材養成とネットワーク作りのための行政学習会の開催 ・活動団体リストの作成 ・副読本作成会議の開催 ・教育関係者への意識調査の実施 ・男女共生出張講座経費
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　41　男女共同参画推進事業(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	男女共同参画社会基本法他、関係法が整備され始めたため

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	男女共同参画社会基本法により市町村の取り組みの責務が定められているため

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
○ 問題無 ● 要配慮	市民、企業等への啓発が必要であり、そのためには市政全体での取り組みが不可欠である

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	審議会等への女性登用率				
選定理由	政策・方針等の決定の場における男女の比率の格差が現れているため				
計算・推計方法	全庁的な市審議会等における女性の登用状況調査による				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	３０％	３０％	３０％	３０％	３０％

実績					

【⑦事業成果指標・備考】
この事業の成果は、市民の男女共生意識の醸成であり、数値化することが困難であるため、政策・方針決定の場における男女共同参画という一部分としての指標を設定するものである。

08商工　41

事業説明シート　47　セリオン運営費等補助金(継続)

部局課所　**商工部港湾貿易振興課**
総合計画　1章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
2節 交通体系の整備
5項 秋田港の充実
重点テーマ 0 -

【①事業の目的】	【②事業の対象】
ポートルネッサンス２１事業による秋田港のシンボルタワーセリオンの運営支援	セリオンへの年間入館者約40万人を始めとした市民港秋田港本港地区への来場者
【③全体事業概要】 ポート秋田(株)に対し、展望料金半額化に伴う減収補填補助および運営費補助(長期借入金元利償還金相当額)を行い、公設化までの経営を支援する。	【④新年度事業概要】 ・運営費補助（元利償還金相当額）　244,091千円 ・半額化補助　31,450千円
【⑤備考】 平成18年度にセリオンを公設化の予定	【⑥国県施策名】 【⑦国補助率】 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】

事業評価シート　47　セリオン運営費等補助金(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	セリオン公設化までは、市が必要な財政支援をすることとしている。

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変　○ 減少傾向	

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	セリオン公設化までは、市が必要な財政支援をすることとしている。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	セリオン入館者数（人）				
選定理由	ポートルネッサンス２１事業の目的である「秋田港の賑わい創出」効果を計るため、同事業対象地区における集客数に最も近い数字であるため。				
計算・推計方法	ポート秋田㈱による集計				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
実績					

【⑦事業成果指標･備考】

事業説明シート **50　動物園施設整備事業(継続)**

部局課所　商工部大森山動物園
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6 節 観光･コンベンションの振興
5 項 大森山動物園の整備充実
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
老朽化した猛獣舎等の施設や園内展示環境を時代に合わせてリニューアルを図り、安全でより魅力的な動物展示の実現を目指す。また、バリアフリー化へ対応しながら、安らぎの場にふさわしい園内環境を整備し、市民に心の潤いとゆとりある生涯学習の場を提供しようとするものである。	全市民他
【③全体事業概要】 整備基本計画に基づき、老朽化の著しい施設の改修およびバリアフリー化への対応による園内展示環境を計画的に整備する。 1．猛獣舎改修 「チンパンジーの森」建設および付帯工事　13年度 「大型ネコ科展示舎」設計および建設　12～15年度 2．園路バリアフリー化、アプローチ改善14～19年度 3．管理棟・学習センター新設　17～18年度	**【④新年度事業概要】** 1．猛獣舎改修　「大型ネコ科展示舎」更新工事 2．ゲート前駐車場整備工事
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**　98

事業評価シート **50　動物園施設整備事業**(継続)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	①老朽化した危険な展示施設改修の要望があり、早期改修と展示内容の充実を図る。　②市民や議会から園路バリアフリー化への要望があり、早期の改善が必要である。　③学校等、時代の要請に対応した社会教育的施設としての環境整備が望まれている。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	安全性の確保のため、老朽化施設の早急な改修が必要である。また、時代にあった園内展示環境整備が求められている。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	入園者数				
選定理由	集客施設であるため。				
計算・推計方法	総入園者数				
留意事項	入園者数のみでは、事業効果を計ることは困難である。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	210,000	220,000	220,000	235,000	235,000

実績					

【⑦事業成果指標・備考】
教育的効果やお客様の満足度、癒し効果等は数的に表すことは難しい。

08商工　50

事業説明シート　52　動物園おもしろ情報事業(新規)

部局課所　**商工部大森山動物園**
総合計画　2 章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
6 節 観光･コンベンションの振興
5 項 大森山動物園の整備充実
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【①事業の目的】	【②事業の対象】
近年動物園に対する社会的な認識や要請は大きく変わりつつある。生涯学習や心身両面のリハビリなどの利用が増加している中、ゆとりある安らぎの場として、身近に愛される動物園運営を目指し、様々な教育普及活動を行う。	全市民他
【③全体事業概要】	**【④新年度事業概要】**
体験型観光施設の展開、セカンドスクール的発想の展開など、より楽しく学べる動物園運営を目指す。	動物園ボランティアガイドの養成、導入及びガイドブックの製作、頒布等
【⑤備考】	**【⑥国県施策名】** **【⑦国補助率】** **【⑧県補助率】** **【⑨起債充当率】**

事業評価シート　52　動物園おもしろ情報事業(新規)

【①事業手法･推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
● 無 ○ 有	

【②民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	

【③住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変　○ 減少傾向	単なる見学にとどまらず、ガイドによる解説、ガイドブックの必要性など細かなサービスを求める声がある。

【④市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	社会教育的施設として、また観光施設としてのイメージアップにつながり、市民の要望に答える必要がある。

【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	入園者数				
選定理由	集客施設であるため。				
計算・推計方法	総入園者数				
留意事項	総入園者数のみでは、事業効果を計ることは困難である。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	210,000	220,000	220,000	235,000	235,000
実績					

【⑦事業成果指標･備考】
教育的効果やお客様の満足度、また、癒し効果などは数的に表すことは難しい。